

# 桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

## 第39回

2016年  
7月2日(土)  
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 早稲田キャンパス16号館 820号室

★どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。**参加無料**  
☆終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)  
※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。  
※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。



## 回想のルムンバ大学

報告者：田中 道子



●田中 道子(たなか みちこ) メキシコ大学院大学教授

### 1960年代、モスクワでの留学生活

冷戦下の1960年に創立されたルムンバ民族友好大学には、アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカ、およそ60カ国の国々から毎年数百名の留学生が集まり、医学・工学・理学・経済学・歴史・文学などを学んでいました。日本の留学生もここで学び、ここを巣立った人たちはさまざまな分野で日本とソ連の懸け橋となり活躍しました。

近くここで学んだ卒業生の文集が雑誌「カスチョール」(33号)で特集号として発刊されることになりました。

それにちなみ、ここで1962年から1967年にかけて一学生として学んだときのソ連体験を振り返ります。



ルムンバ大学(現・ロシア諸民族友好大学)



★雑誌「カスチョール」  
<http://koctep.jp/>

「カスチョール」32号

## 『異国の丘』異聞——プリンス近衛文隆抑留死の二つの謎

報告者：加藤 哲郎

### シベリアに抑留された若きプリンスの謎の死

1943年満洲戦線で作られた吉田正作曲の軍歌「異国の丘」と、1949年シベリア抑留帰還最盛期の映画「異国の丘」、それに2001年初演の劇団四季ミュージカル「異国の丘」をダブらせ、ミュージカルの原作となった西木正明『夢顔さんによろしく』の主人公、近衛文麿首相長男・近衛文隆の1956年10月日ソ国交回復時の抑留死の謎を今日のシベリア抑留研究・冷戦史研究に照らして検討する。

二つの謎とは、収容所での文隆毒殺の疑いと、抑留末期の文隆の家族宛手紙に出てくる「夢顔さん」とは誰かの問題である。

ゾルゲ事件、上海・鄭蘋如(テンピンルー)日中平和工作事件、関東軍の人体実験・細菌戦731部隊、極東軍事裁判、シベリア抑留帰還者への米軍二重スパイ工作、などが背景になる。



劇団四季ミュージカル「異国の丘」



舞鶴引揚記念公園「異国の丘」歌碑

●加藤 哲郎(かとう てつろう) 一橋大学名誉教授